武　一　中

令和２年１０月２７日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ２－１１号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

「思う、考える」から「行動する」へ

校　長　　中嶋　建一郎

皆さんはこれまで道徳の授業等を通して様々なことを学び、多くの思いや考えをもつようになったと思います。その「思ったり、考えたり」したことの次の段階として「行動する」ことがあります。でも、その行動が簡単ではありません。私も場所やタイミング等により出来ないことがあります。「行動する」ことの難しさは、皆さんが中学生だからというわけではなく、大人になってからも同じように感じるものです。

例えば、「あいさつをすることは大切だ」ということは分かっていて、「あいさつしよう」と思っていても、実行できないことがあります。教室に落ちているごみを拾うことや、困っている人を助けること等は多くの人が「行うことは大切だ」と思っている、考えていることではないでしょうか。でも、「実際に行ってみる」その一歩を踏み出すのが難しいのです。もちろん、人によって行動に移せるレベルに違いがあります。「なんでそんなことできないの？」と思う人もいるでしょう。

先週、生徒会役員選挙がありました。立候補した皆さんは、「行動する」ことを人一倍実践しています。生徒にとって一中をもっと過ごしやすいようにしていきたいという強い思いをもって立候補してくれました。これからの活躍に期待しています。前の生徒会役員の皆さんも様々な活動をしていました。例えば、生徒の要望をまとめて私のところに話にきてくれました。その要望の中で実現したことのひとつが多目的室に設置された冷水器です。行動することは何かを変えるチャンスにもなります。

行動すると反応や結果により、自分自身が変化することもあります。例えばあいさつなら、相手からもあいさつを返されて良い気分になったり、先生から「大きな声で良いですね」と褒められたりして、「続けてみよう」となるかもしれません。実行してみることで、「自分はそれほど苦手じゃない、でもこの部分は嫌だな」などと自分を知ることにもなります。そして、「こういう面が不足しているから補ってみようかな」と考えることにもつながります。

行動することについて完璧を目指す必要はありません。続けなければならないと思うと負担感があり出来ないようであれば、１回だけでも良いのです。一人で難しければ友だちを誘ってみるのも良いでしょう。ハードルを低くして、あなたの思っている、考えていることを行動に移してみましょう。それを少しずつ積み重ねることが自分自身を成長させることになります。

私は昨年、富士登山で自然の美しさを保つにはゴミ拾いが大切だと学びました。そして今年、青梅の御岳山で実行することができました。これからも毎回できるとは限りませんが、行動しようと思っています。

２７日（火）放送朝礼より